

## 資料２ 市民アンケート結果

### 1. 市民アンケート結果（回答数：2,897）

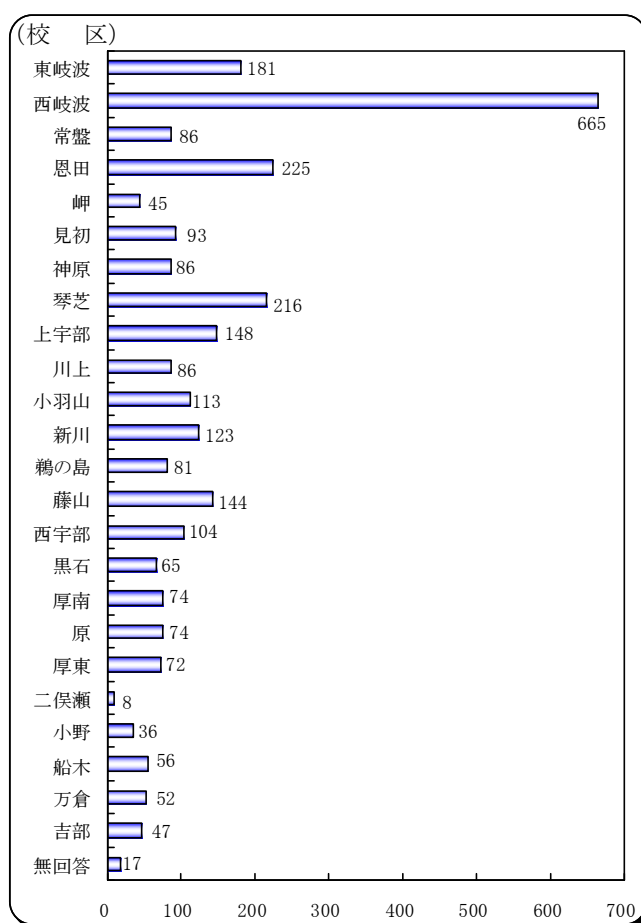
市民アンケート調査は、平成22年8月15日～9月3日まで宇部市の全世帯（77,867世帯 H22.8.1）を対象として行いました。

回答数は2,897で全世帯に対する回答率は3.7%でした。

#### （1）居住の校区

最も回答が多かった校区は『西岐波（665）』で回答の22.8%となっており、次いで『恩田（225）』、『琴芝（216）』でした。

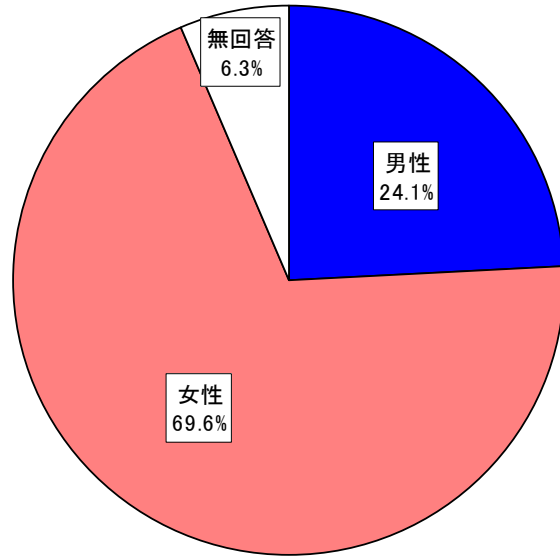
	回答数	構成比
1. 東岐波	181	6.2%
2. 西岐波	665	22.8%
3. 常盤	86	3.0%
4. 恩田	225	7.8%
5. 岬	45	1.6%
6. 見初	93	3.2%
7. 神原	86	3.0%
8. 琴芝	216	7.5%
9. 上宇部	148	5.1%
10. 川上	86	3.0%
11. 小羽山	113	3.9%
12. 新川	123	4.2%
13. 鶉の島	81	2.8%
14. 藤山	144	5.0%
15. 西宇部	104	3.6%
16. 黒石	65	2.2%
17. 厚南	74	2.6%
18. 原	74	2.6%
19. 厚東	72	2.5%
20. 二俣瀬	8	0.3%
21. 小野	36	1.2%
22. 船木	56	1.9%
23. 万倉	52	1.8%
24. 吉部	47	1.6%
25. 無回答	17	0.6%
計	2,897	100.0%



(2) 性別

最も回答が多かった性別は『女性 (2,017)』で回答の 69.6%となっており、『男性 (697)』の回答は 24.1%でした。

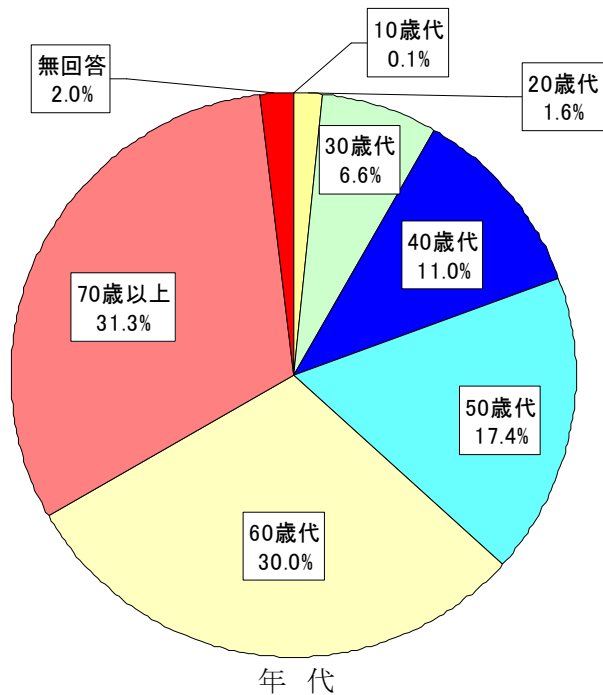
	回答数	構成比
1. 男性	697	24.1%
2. 女性	2,017	69.6%
3. 無回答	183	6.3%
計	2,897	100.0%



(3) 年代

最も回答が多かった年代は『70歳以上 (909)』で回答の 31.3%となっており、次いで『60歳代 (868)』、『50歳代 (503)』でした。

	回答数	構成比
1. 10歳代	2	0.1%
2. 20歳代	46	1.6%
3. 30歳代	192	6.6%
4. 40歳代	320	11.0%
5. 50歳代	503	17.4%
6. 60歳代	868	30.0%
7. 70歳以上	909	31.3%
8. 無回答	57	2.0%
計	2,897	100.0%

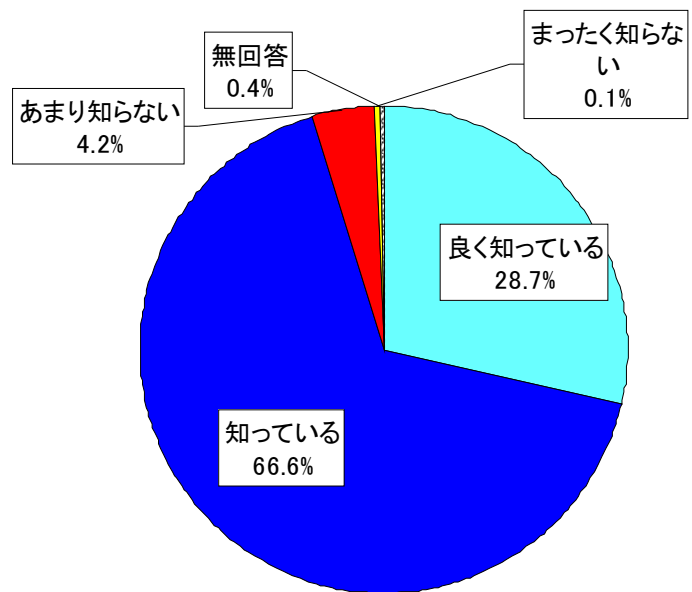


#### (4) ごみの正しい分け方・出し方について

ごみの正しい分け方・出し方については、『知っている (1,932)』が最も多く、回答の 66.6%となっており、次いで『良く知っている (830)』、『あまり知らない (121)』でした。

また、『良く知っている』、『知っている』を合わせると 2,762 件となり、回答の 95%を占めていました。

	回答数	構成比
1. 良く知っている	830	28.7%
2. 知っている	1,932	66.6%
3. あまり知らない	121	4.2%
4. まったく知らない	3	0.1%
5. 無回答	11	0.4%
計	2,897	100.0%

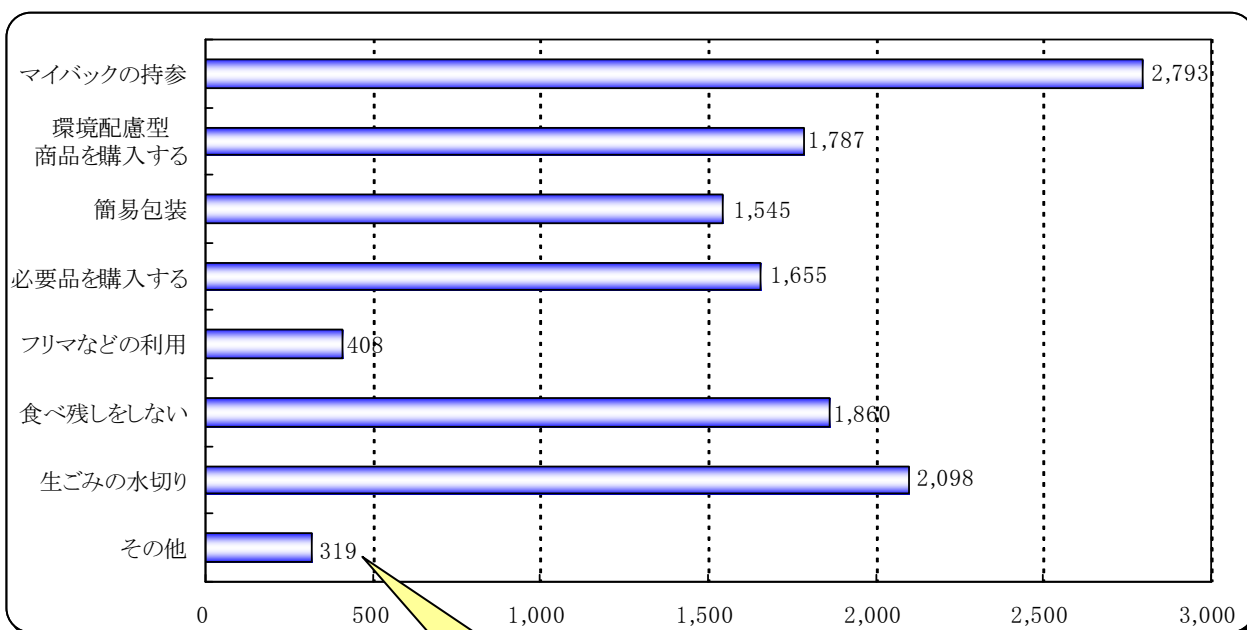


正しい分け方・出し方に対する理解

(5) 日常生活において、ごみを減らすために取り組んでいること（複数回答）

日常生活において、ごみを減らすために取り組んでいることは、『マイバッグを持って買い物に行く（2,793）』が最も多く、回答の96.4%となっており、次いで『生ごみの水切り（2,098）』、『食べ残しをしない（1,860）』でした

	回答数	比率
1. マイバッグを持って買い物に行く	2,793	96.4%
2. 環境に優しいものを選んで購入（詰替え・長く使用できる商品）	1,787	61.7%
3. 簡易包装	1,545	53.3%
4. 必要なものだけ購入	1,655	57.1%
5. フリーマーケットやリサイクルショップを利用	408	14.1%
6. 食べ残しをしない	1,860	64.2%
7. 生ごみの水切り	2,098	72.4%
8. その他	319	11.0%
計	—	—



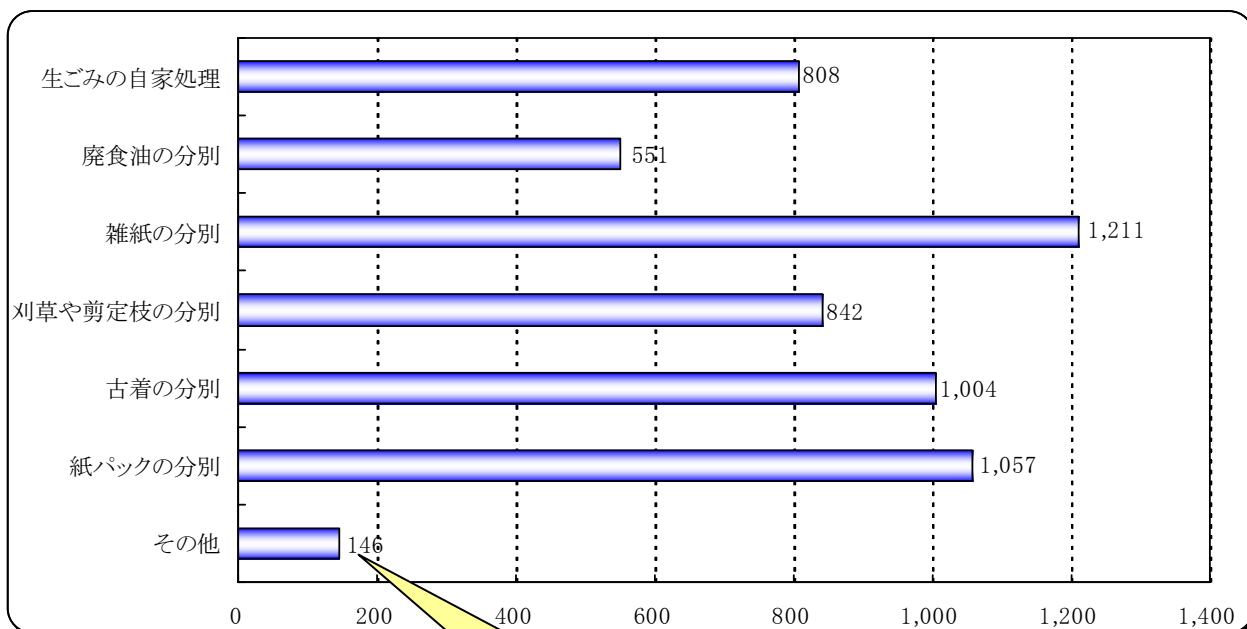
その他の内容	回答数
堆肥化	191
3R【リユース・リサイクル等】	37
分別の徹底	28
生ごみの水切り・乾燥	24
エコクッキング	16
減容化	15
排出抑制	9
必要なものだけ購入	8
簡易包装	5
集団回収の利用	4
内容不明	17

「その他」について、複数の内容での回答を含むため、その他の回答数と内訳合計は合いません。

(6) 今後、ごみを減らすために新に取り組めること（複数回答）

今後、ごみを減らすために新に取り組めることは、『雑紙の分別（1,211）』が最も多く、回答の41.8%となっており、次いで『紙パックの分別（1,057）』、『古着の分別（1,004）』でした。

	回答数	比率
1. 生ごみの自家処理(堆肥化)	808	27.9%
2. 廃食油の分別	551	19.0%
3. 雑紙の分別	1,211	41.8%
4.刈草や剪定枝の分別	842	29.1%
5. 古着の分別	1,004	34.7%
6. 紙パックの分別	1,057	36.5%
7. その他	146	5.0%
計	—	—



その他の内訳 (146)		回答数
分別の徹底		18
3R【リユース・リサイクル等】		15
堆肥化		13
エコクッキング		5
必要なものだけ購入		5
簡易包装		5
集団回収の利用		4
排出抑制		2
内容不明		79